

安全な道路横断を学ぶ たかおかこども園で交通教室

富士市厚原のたかおかこども園で15日、2歳児から年長児を対象とした交通安全教室が開かれた。県交通安全協会富士地区支部の交通安全指導員の講話で交通ルールを学んだ。年長児は同園周辺の道路を歩き、道路横断時の安全確認のやり方などに理解を深めた。

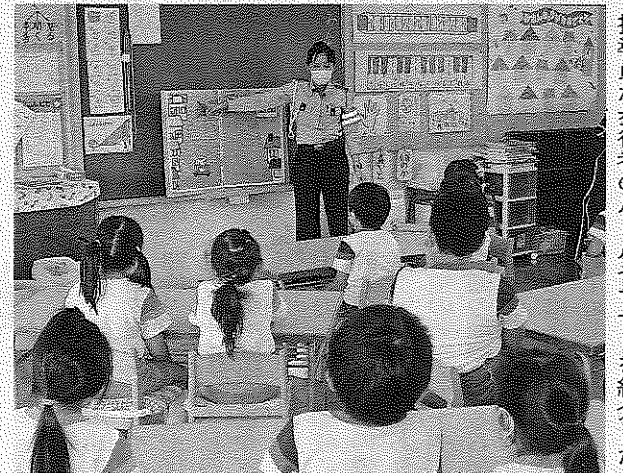


指導員の呼び掛けに合わせて前後左右の安全を確認

年長児は来年4月の小学校入学に備え、歩道や横断歩道などを安全に通行できるように実地練習に挑戦した。横断歩道では、指導員の呼び掛けに合わせて「右よし、左よし」と声に出して周囲の安全を確認。通りかかった車が止まって通行を促すと、園児たちは「ありがとうございます」と元氣いっばいに運転手へとあいさつし、他方から車が来ないかを確認してから渡った。講話では交通安全指導員が大型絵本などを使い、道路を通行する際には▽道路の右端を歩く▽交差点や横断歩道の手前では必ず止まり、左右前後の安全を確認する▽歩行者用信号が青色点滅になったら渡らないなどを心に掛けるように伝えた。道路を横断する際には「みんなは体が小さいので車の運転手に気付いてもらえないかもしれないので、右手を挙げて『ここにいるよ』とアピールしてほしい。横断歩道を渡り始めたときに青信号が点滅したら引き返し、横断歩道の真ん中で点滅したら急ぎ足で渡り切つて」と呼び掛けた。傘を差して歩く練習では、指導員から傘の差し方や差しながら歩く際の注意点を教わった。園児たちは▽先端を絶対に他人に向けない▽振り回さない▽人がいる方向に開かない▽などに注意しながら練習に取り組んだ。イラストから交通ルールやマナーを無視して通行している人を探し「交通安全間違い探しゲーム」も楽しんだ。同園は毎年、年長児の小学校入学に備えて交通安全教室を開催



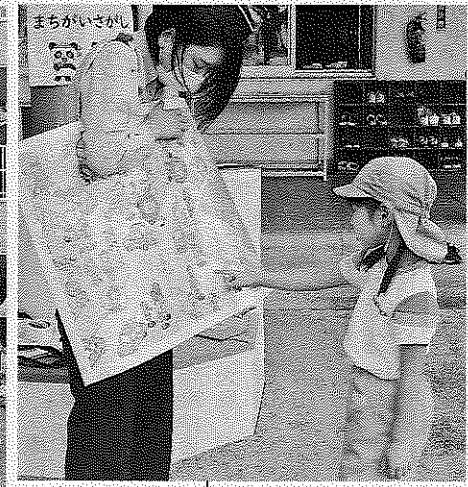
右手を挙げて横断歩道を渡った



指導員が歩行者のルールやマナーを紹介した

今年初めて公道での
通行練習も行った。

渡邊宏行園長は「コロナ禍での外出自粛の影響もあり、一人で道路を歩いた経験がない園児もいる。事故に遭わないためにも小学校入学までに最低限のルールやマナーなどを理解し、『自分の身は自分で守る』意識を身に付けてほしい」と話した。



ゲームで交通ルール・マナーを学んだ(上) 安全に傘を差して歩く練習にも挑戦した(左)

